

事業の計画と実施状況

事業計画	実施状況
【公益1】県民スポーツ・文化推進事業 1,191,972千円(1,159,965千円) 1 競技力向上 271,161千円(265,874千円) (1) 目指せトップトップアスリート!わかとりっこ育成事業 1,526千円(1,592千円) 小学生にスポーツに触れる機会を提供することにより、スポーツに興味を持つ子どもを一人でも多く発掘し、ジュニア育成へとつなげ、未来のトップアスリートを目指すきっかけとするため、「わかとりっこ体験会」を実施する。(11競技) (2) カテゴリー別合同練習会 9,029千円(9,029千円) 小学校高学年と中学1年、中学3年と高校1年など、校種をまたいで合同練習会を実施することにより、進学後における一貫した指導体制を維持し、組織的な強化を図る。(37競技)	【公益1】 1,138,944,418円 1 264,568,782円 (1) 1,085,620円 わかとりっこ体験会 期 日: 令和6年11月3日 場 所: 鳥取県民体育館 参加数: 223名 競 技: ホッケー、卓球、ラグビーフットボール スポーツクライミング、ローイング、レスリング 期 日: 令和7年3月9日 場 所: 皆生市民プール、クイーンボウル 参加数: 42名 競 技: 水球、ボウリング (2) 8,902,630円 35競技 (陸上、水泳、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン)

(3) ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業 4,800 千円 (4,800 千円) 特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成、活性化、大会参加等に対して支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。 (20 競技 24 クラブ)	(3) 4,912,192 円 20 競技 24 クラブ (水泳 2、ローイング 2、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操 2、レスリング、ハンドボール、自転車、相撲、フェンシング、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー 2、空手道、銃剣道、ボウリング、スケート、トライアスロン)
(4) 運動部活動活性化事業 28,651 千円 (28,515 千円) ①中学生選抜選手育成・強化支援 7,164 千円 (7,471 千円) 競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図る。(21 競技) ②高等学校運動部指定合宿等支援 6,875 千円 (6,875 千円) 高校の運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を図るため、各競技の運動部を指定し、強化合宿等に要する経費に対して支援を行う。 ・配分方法：A、B に区分して配分 ・配分先：23 校 32 競技 64 部 ③高等学校運動部指定特別指導者確保支援 7,936 千円 (6,610 千円) 指定した運動部への指導者配置に要する経費に対して支援を行うことにより、競技力の向上を図る。 ・鳥取城北高校 (相撲) ・鳥取敬愛高校 (バドミントン) ④高等学校運動部指定外部指導者支援 6,676 千円 (7,559 千円)	(4) 26,570,079 円 ①7,162,400 円 21 競技 (陸上、水泳、サッカー、ホッケー、バレーボール、体操、新体操、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、スキー、スケート、テニス) ②6,415,790 円 23 校 30 競技 72 部 A 指定：33 部 B 指定：39 部 ③7,745,744 円 2 校 2 競技 2 名 鳥取城北高等学校 相撲部 1 名 鳥取敬愛高等学校 バドミントン部 1 名 ④5,246,145 円

(5) 県外優秀アスリート受入支援事業 3,900 千円 (4,500 千円) 県立高校へ入学する県外優秀アスリートの受入体制に対して支援を行う。 ・八頭高校ホッケー部 (9 名) ・岩美高校バレーボール部 (4 名) (6) 特別ジュニア選手指定強化事業 39,976 千円 (39,142 千円) 競技団体が指定する国スポ等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することにより、国スポをはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。 (27 競技 30 種目) (7) 鳥取ジュニアアスリート育成強化事業 10,481 千円 (10,114 千円) 県が認定したジュニアアスリートに対する強化育成事業を実施する。 (14 競技 185 名) (8) 大学部指定強化事業 500 千円 (550 千円) 大学の運動部を指定し、強化事業を実施する。 ・指定方法 : A~D の 4 区分に分けて配分 ・配分先 : 2 大学 6 部	外部指導者 10 校 22 名 (5) 4,350,000 円 八頭高校ホッケー部 : 12 名 岩美高校バレーボール部 : 3 名 (6) 41,967,762 円 25 競技 (陸上、水泳、ローイング、ホッケー、バレーボール、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、卓球、相撲、馬術、バドミントン、弓道、ライフル射撃、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、ボウリング、スキー、スケート、トライアスロン) (7) 10,479,800 円 14 競技 (水泳 (水球))、ローイング、ホッケー、ボクシング、レスリング、セーリング、自転車、フェンシング、ライフル射撃、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、トライアスロン) (8) 500,000 円 2 大学 7 部 鳥取大学 (ボート、アイスホッケー、弓道、体操、テニス、バレーボール) 米子工業高等専門学校 (ヨット)
--	---

(9) 社会人等選手指定強化事業 28,455 千円 (26,949 千円) 競技団体が指定する国スポ等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することにより、国スポをはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。 (27 競技 29 種目)	(9) 26,389,139 円 26 競技 (陸上、水泳、ローイング、ホッケー、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、卓球、軟式野球、相撲、馬術、バドミントン、弓道、ライフル射撃、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、ボウリング、スキー、スケート、トライアスロン)
(10) 成年団体競技強化チーム事業 1,519 千円 (1,519 千円) 県内の高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に要する経費に対して補助を行う。 ・チアフル鳥取 (バドミントン) ・米子クラブ (アイスホッケー)	(10) 1,819,000 円 2 競技 2 クラブ チアフル鳥取 (バドミントン) 米子クラブ (アイスホッケー)
(11) 優秀選手確保事業 1,500 千円 (1,500 千円) 成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に対して補助を行う。 (1 人当たり 1,000 千円)	(11) 1,500,000 円 R5.4.1 採用：2 名分 R6.4.1 採用：1 名分
(12) 特別指定競技強化事業 12,499 千円 (13,033 千円) 令和3年度から5年間のビジョン、強化策等プレゼンテーションの結果を踏まえ、県内外の強化合宿等に要する経費に対して補助を行い、集中的な強化事業を展開することにより、国スポでの成績向上を図る。(9 競技 10 種目)	(12) 12,930,190 円 9 競技 (サッカー、ボクシング、体操 (新体操、トランポリン)、バスケットボール、ソフトテニス、フェンシング、柔道、ソフトボール、ラグビーフットボール)
(13) 指導者の育成確保事業 20,421 千円 (20,053 千円) ①ジュニア指導者講習会 3,367 千円 (3,511 千円) ジュニアの指導にあたる指導者を対象にした講習会を開催す	(13) 19,239,486 円 ①2,956,164 円 36 競技

ることにより、指導者自身の資質向上を図るとともに、県内指導者間の指導方法の共有化を促進する。(37競技)

②指導者の育成事業 3,664千円(3,664千円)

県内指導者を国内トップレベルの指導者のもとへ派遣、又は県外から優秀指導者を招へいして講習会等を行うことにより、県内指導者の資質向上へ指導体制の充実を図る。

(27競技29種目)

③競技力向上のための指導者確保事業

13,237千円(12,725千円)

競技力向上のために優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。

・体育指導員2名配置(ホッケー、セーリング)

④公認指導者資格取得・更新補助事業 153千円(153千円)

国スポの監督資格要件とされる日本スポーツ協会公認指導者資格の取得及び更新に係る経費に対して、その1/2を補助する。

(14)環境整備事業 61,918千円(56,460千円)

①強化練習用消耗品等対策事業 19,263千円(19,650千円)

(陸上、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン)

②2,873,022円

26競技

(陸上、水泳、サッカー、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、自転車、ソフトテニス、相撲、馬術、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、スキー、スケート、トライアスロン)

③13,237,000円

体育指導員2名配置(セーリング、スポーツクライミング)

④173,300円

10競技

(ローイング、ホッケー、バレーボール、レスリング、ソフトテニス、剣道、カヌー、アーチェリー、なぎなた、スキー)

(14)61,146,878円

①18,681,612円

国スポに参加する上で必要となる消耗品、使用料、作曲料、運搬料等に対して、その特殊性を考慮し補助を行う。

(12競技13種目)

②国スポ等強化備品整備 40,749千円(34,908千円)

国スポ参加や強化に必要な強化備品の整備を行う。

(10競技)

③安全管理対策事業 1,906千円(1,902千円)

国スポ候補選手のスポーツ安全保険に対して補助を行うことにより、強化事業に安心して専念できる体制を整える。

(41競技)

(15) JOC 競技別強化拠点整備等事業 13,552千円(12,929千円)

JOC 競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリナー及び倉吉体育文化会館にコーチングスタッフを配置し、競技力向上のための機能や利便性の向上を図る。

・体育指導員2名配置(セーリング、スポーツクライミング)

(16) スポーツ医・科学推進事業 5,398千円(5,795千円)

①医・科学サポート事業 5,366千円(5,595千円)

医事、栄養及びドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会や栄養知識及び普及に関する講習会を開催するほか、筋力ト

12競技

(水泳、ローイング、体操、セーリング、自転車、馬術、山岳・スポーツクライミング、カヌー、クレール射撃、スキー、スケート、アイスホッケー)

②40,900,177円

10競技

(陸上、ローイング、体操、レスリング、セーリング、自転車、バドミントン、ライフル射撃、カヌー、トライアスロン)

③1,565,089円

33競技

(陸上、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、柔道、バドミントン、弓道、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スケート、アイスホッケー)

(15) 13,399,539円

体育指導員2名配置(セーリング、スポーツクライミング)

(16) 3,187,155円

①3,174,275円

・29競技

(陸上、水泳、サッカー、ローイング、ホッケー、ボクシング、

レーニング等の充実、県外スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。 ②アンチ・ドーピング教育・啓発事業 32 千円 (200 千円) ・指導者、選手を対象とした講習会の開催 ・アンチ・ドーピングに関する啓発 (17) 競技力向上推進費 27,036 千円 (26,141 千円) ①強化推進事業 1,080 千円 (1,080 千円) 競技団体と連携を図るための、連絡、調整、指導、視察、会議等に要する経費 ②競技力向上担当人件費 25,956 千円 (25,061 千円) 競技力向上担当職員 4 名分 2 国民スポーツ大会事業 121,239 千円 (148,689 千円) (1) 国スポ県予選会の開催 2,694 千円 (4,645 千円) 競技団体へ委託して、国スポ選手選考のための県予選会を開催する。(40 競技)	バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、ソフトテニス、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳・スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、スケート、トライアスロン) ・トレーナー養成講習会：4 回実施 延べ 67 名参加 ・指導者クリニック - 日 時：令和 7 年 3 月 8 日 10 時～12 時 - 場 所：倉吉体育文化会館 - 講 師：川西弘晃氏 - 参加者：40 名 ②12,880 円 ドーピング講習会 1 回目：令和 6 年 8 月 27 日 白兔会館 86 名参加 2 回目：令和 6 年 9 月 27 日 鳥取県民体育館 104 名参加 (17) 26,189,312 円 ①1,240,462 円 競技団体のヒアリング、意見交換会等に係る経費 その他事務費 ②24,948,850 円 競技力向上担当職員 4 名分の人件費 2 105,516,852 円 (1) 2,581,186 円 国スポ選手選考のための県予選会を競技団体へ委託 40 競技
---	--

(2) 中国ブロック大会等への選手団派遣

37,982 千円 (55,179 千円)

①国スポ中国ブロック大会

- ・期 日：令和6年5月～12月
- ・開催地：島根県内の各会場等
- ・競技数：水泳（水球）他30競技

②フィギュアスケート全国予選会

- ・期 日：令和6年12月
- ・開催地：関東

(3) 第78回国スポ及び第79回国スポ冬季大会への選手団派遣

79,276 千円 (78,638 千円)

①第78回国スポ（会期前・本大会）

- ・期 日：（会期前）令和6年9月5日～17日、9月21日～10月1日
（本大会）令和6年10月5日～15日

- ・開催地：佐賀県
- ・競技数：陸上競技他36競技

②第79回国スポ冬季大会

《スキー競技》

- ・期 日：令和7年2月13日～16日
- ・開催地：秋田県鹿角市

(2) 34,326,535 円

①国スポ中国ブロック大会

- ・本大会 30競技 811名派遣

期 日 令和6年5月18日～9月1日

会 場 島根県内の各会場（一部他県）

競技種目 水泳（水球）他29競技

- ・冬季大会 1競技 31名派遣

期 日 令和6年12月14日～同月15日

会 場 島根県宍道湖公園湖遊館

競技種目 アイスホッケー

②フィギュアスケート全国予選会 6名派遣

期 日 令和6年11月30日～12月1日

会 場 群馬県 ALSOK ぐんまアイスアリーナ

競技種目 スケート（フィギュア）

(3) 67,478,424 円

①第78回国スポ（会期前・本大会）

期 日：会期前1 令和6年9月5日～同月17日

会期前2 令和6年9月21日～10月1日

本大会 令和6年10月5日～同月15日

開催地：佐賀県（一部他県開催）

参加競技：陸上競技他31競技 357名派遣

②第79回国スポ冬季大会

《スキー競技》

期 日：令和7年2月13日～16日 34名派遣

開催地：秋田県鹿角市

《スケート・アイスホッケー競技》

・期 日：令和7年1月26日～2月5日

・開催地：岡山県岡山市・倉敷市（フィギュア、ショートトラック、アイスホッケー）群馬県渋川市（スピード）

（4）国スポ等派遣選手指導費 1,287千円（1,287千円）

県内外の各種大会や強化事業に出向くとともに、競技団体と情報交換を行い、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行う。

3 生涯スポーツ推進 32,326千円（29,634千円）

（1）広域スポーツセンター事業 14,109千円（13,371千円）

①総合型地域スポーツクラブ運営改善事業 320千円（320千円）

総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブの設立及び運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図る。

・研修会1回、派遣2回

②クラブアドバイザー配置事業 5,855千円（5,435千円）

総合型地域スポーツクラブの設立及び運営支援等を行うため、クラブアドバイザー（1名）を配置する。

③クラブアシスタントマネージャー研修事業

《スケート・アイスホッケー競技》

期 日：令和7年1月26日～2月5日 14名派遣

開催地：岡山市・倉敷市（フィギュア、ショートトラック）

（4）1,130,707円

情報収集活動等に伴う旅費交通費等

3 28,600,309円

（1）12,310,239円

①130,838円

【研修会】

期 日：令和6年9月4日（水）

場 所：鳥取県立倉吉体育文化会館・小研修室1

講 師：神戸親和大学 教授 松田 雅彦 氏

参加者：16名

【講師派遣】

期 日：令和7年1月12日（日）

場 所：日南町総合文化センター・多目的ホール

講 師：神戸親和大学 教授 松田 雅彦 氏

参加者：13名

②4,462,499円

1名配置

③167,726円

170 千円 (153 千円) 総合型地域スポーツクラブのマネジメントに必要な基礎知識を有する人材を養成するため、総合型地位スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象とした資格取得のための研修会を行う。(年1回) ④広域スポーツセンター人件費 7,636 千円 (7,378 千円) 広域スポーツセンター担当職員1名分 ⑤総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 128 千円 (85 千円) 総合型地域スポーツクラブが公益性の高い持続可能な「社会的な仕組み」として地域社会に定着することを目的として、県内の総合型地域スポーツクラブの相互交流と活動支援等を行う。	期 日：令和6年6月29日(土)～6月30日(日) 場 所：鳥取県立倉吉体育文化会館・小研修室1 講 師：広島経済大学 准教授 渡辺 泰弘 氏 参加者：3名 ④7,469,371 円 1名配置 ⑤79,805 円 【第1回】(決算総会) 期 日：令和6年7月10日(水) 13:30～ 場 所：鳥取県立倉吉体育文化会館・小研修室1 参加者：8名 【第2回】(改選後総会) 期 日：令和6年7月10日(水) 15:00～ 場 所：鳥取県立倉吉体育文化会館・小研修室1 参加者：8名 【第3回】(予算総会) 期 日：令和7年3月17日(月) 14:00～ 場 所：鳥取県立倉吉体育文化会館・小研修室1 参加者：14名
(2) 第25回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業 7,482 千円 (7,879 千円) 広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を提供することにより、県民一人一人の参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。 《夏季大会》	(2) 6,776,176 円 《夏季大会》 種目数：3種目 期 日：令和6年6月～8月にかけて開催 会 場：東部地区を中心に全県で開催 参加人数：639名

- ・種目数：3種目
- ・期 日：令和6年8月頃
- ・会 場：東部地区を中心に全県で開催

《秋季大会》

- ・種目数：29種目
- ・期 日：令和6年10月頃
- ・会場：東部地区を中心に全県で開催

《冬季大会》

- ・種目数：5種目
- ・期 日：令和7年2月頃
- ・会 場：東部地区を中心に全県で開催

(3) 大韓民国江原道とのスポーツ交流事業

7,335千円(3,500千円)

当協会と江原道体育会との協定(平成13年11月6日締結)に基づいて、両県道のスポーツ交流を行う。令和6年度は江原道が鳥取県を訪問。

- ・交流競技：テニス競技(成年男女)、レスリング競技(少年男女)
- ・期 日：令和6年12月(予定)
- ・参加者：2競技の監督、選手、当協会役職員等

(4) 県民まるとスポーツ推進事業 3,400千円(3,730千円)

①親子deスポーツ推進事業(総合型) 1,116千円(1,116千円)

子育て世代を中心に親子で運動・スポーツに親しむ機会を提供することにより、スポーツを楽しむ意識の高揚とスポーツ振

《秋季大会》

- 種目数：26種目
- 期 日：令和6年7月～12月にかけて開催
- 会 場：東部地区を中心に全県で開催
- 参加人数：7,464名

《冬季大会》

- 種目数：4種目
- 期 日：令和7年1月～3月上旬
- 会 場：東部地区を中心に全県で開催
- 参加人数：596名

(3) 5,687,356円

- ・実施競技 テニス(成年男女)、レスリング(少年男子)
- ・期 日：令和6年12月4日(水)～8日(日)
- ・開催場所：鳥取県立米子産業体育館他
- ・参 加 者：鳥取県選手団40名、江原特別自治道選手団29名

(4) 3,289,862円

①977,790円

- ・地域スポーツ推進協会(体操、トランポリン、バク転、ボルダリング)
- ・ウルトラスポーツクラブ(トランポ・ロビックス、サッカー)

興を図ることを目的とし、総合型地域スポーツクラブが開催する親子向け運動教室に対して支援する。(9クラブ) ②親子deスポーツ推進事業(競技団体) 1,102千円(1,102千円) ③みんなdeユニスポ推進事業 1,182千円(1,182千円) 年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰でも気軽にスポーツを楽しむことのできる機会を提供することを目的とし、総合型地域スポーツクラブが開催する幅広い層を対象としたスポーツ教室に対して支援する。(5クラブ) ④(終了)スポトピアとっとりフェスタ開催事業 0円(330千円) (5)(終了)鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守事業 0円(824千円) (6)地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業 1,225千円(0円) 県内におけるスポーツの普及とその活性化およびスポーツ主体相互の連携をはかるため、連絡会議を開催するとともに、県内の総合型地域スポーツクラブの知名度向上と地域のスポーツ推進に寄与するための広報を行う。 ※期中追加事業	・ほうきスマイリー(運動あそび、モルック、谷川探検) ・にちなんスポーツクラブ(陸上教室、ビーチバレー他) ・スポーツしよい大山(バドミントン) ②1,181,259円 ・鳥取県ローイング協会 ・鳥取県ホッケー協会 ・鳥取県セーリング連盟 ・鳥取県バドミントン協会 ・鳥取県山岳・スポーツクライミング協会 ・鳥取県なぎなた連盟 ③1,130,813円 ・倉吉サンリンク(ボッチャ、ラダーゲッター) ・青谷スポーツクラブ(スポーツ体験) ・琴の浦クラブ(障がい者スポーツ) ・ウルTRASポーツクラブ(エアロ、ヨガ、サッカー) ・にちなんスポーツクラブ(サッカー、ナイトウォーク他) ④0円 (5)0円 (6)536,676円 【鳥取県スポーツ協会生涯スポーツ推進委員会】 期日：令和6年12月24日(火) 場所：鳥取県庁・第32会議室 参加者：11名 【情報提供冊子の制作】 印刷数：1,000冊
--	--

4 スポーツ少年団育成事業 23,970 千円 (6,908 千円)

(日本スポーツ協会助成事業)

(1) スポーツ少年団育成事業 570 千円 (490 千円)

各地区を代表するスポーツ少年団が参加する県交流大会を開催する。

①軟式野球交流大会

- ・期日：令和6年6月29日(30日予備日)
- ・会場：どらドラパーク米子市民球場

②ミニバスケットボール交流大会

- ・期日：令和6年9月29日
- ・会場：鳥取県立米子産業体育館

③剣道交流大会

- ・期日：令和6年10月13日
- ・会場：北栄町北条B&G海洋センター

④バレーボール交流大会

- ・期日：令和6年10月27日
- ・会場：鳥取市民体育館エネトピアアリーナ

配布先：県内の各市町村教育委員会、各小・中学校、高等学校、各市町村におけるスポーツ推進関係団体に配布

4 19,592,676 円

(1) 545,497 円

①軟式野球交流大会

- 期 日：令和6年6月29日
- 会 場：どらドラパーク米子市民球場
- 参加団数：4単位団(東部1団、中部1団、西部2団)
- 参加人数：91名

②ミニバスケットボール交流大会

- 期 日：令和6年9月29日
- 会 場：鳥取県立米子産業体育館
- 参加団数：9単位団(東部1団、中部4団、西部4団)
- 参加人数：153名

③剣道交流大会

- 期 日：令和6年10月13日
- 会 場：北栄町北条B&G海洋センター
- 参加団数：7単位団(東部1団、中部4団、西部2団)
- 参加人数：60名

④バレーボール交流大会

- 期 日：令和6年10月27日
- 会 場：鳥取市民体育館エネトピアアリーナ
- 参加団数：9単位団(東部3団、中部2団、西部4団)
- 参加人数：115名

派遣する。

① 剣道（大分県）

② バレーボール女子（愛媛県）

③ スポーツ少年大会（秋田県）

（５）中央講習会派遣事業

29 千円（10 千円）

スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会の講師を養成するため、スタートコーチ（スポーツ少年団）インストラクター養成講習会へ派遣する。

（６）スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会開催事業

155 千円（250 千円）

①第４７回全国スポーツ少年団剣道交流大会

期日：令和７年３月２８日～３０日

会場：レゾナック武道スポーツセンター（大分県大分市）

派遣：【団体】赤碕剣道スポーツ少年団

【個人（男女）】大山町剣道スポーツ少年団

②第２２回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会

期日：令和６年１２月２７日～３０日

会場：愛媛県武道館他（愛媛県松山市）

派遣：大栄バレーボールスポーツ少年団

③第６２回全国スポーツ少年団大会

期日：令和６年７月２７日～３０日

会場：秋田県立田沢湖スポーツセンター（秋田県仙北市）

派遣：なし

（５）18,710 円

①スタートコーチ（ジュニア・ユース）インストラクター養成講習会

期 日：令和６年９月２８日～２９日

会 場：新大阪丸ビル別館（大阪府）

参加者：参加者なし

②スタートコーチ（ジュニア・ユース）インストラクター再委嘱研修会

期 日：令和６年１０月２７日

会 場：スクエアホール（岡山県）

参加者：１名

（６）156,100 円

単位団運営に必要とされる指導者資格である「スタートコー チ(スポーツ少年団)」資格を取得するための講習会を開催する。 ・期日：令和6月11月17日 ・会場：鳥取県立倉吉体育文化会館 (7) ジュニア・リーダースクール開催事業 140 千円 (130 千円) 将来のスポーツ少年団指導者の育成を図るため、ジュニア・ リーダースクールを開催する。 ・期日：令和6年9月7日～8日 ・会場：鳥取県立船上山少年自然の家 (8) 地区別交流大会開催費 601 千円 (451 千円) 東・中・西部地区で開催される交流大会費用を助成する。 (9) 地区別指導者研修費 151 千円 (151 千円) 東・中・西部地区で開催される指導者研修費用を助成する。 (10) (臨) 日本スポーツ少年団中国・四国ブロック会議開催事業 847 千円 (0 千円) 中国・四国ブロック内の相互の連帯と次年度以降の各種取組 等に対処するため会議を開催する。 ・期日：令和7年2月頃 ・会場：米子市内 (11) スポーツ少年団本部運営費 1,947 千円 (2,116 千円)	期 日：令和6年11月17日 会 場：鳥取県立倉吉体育文化会館 参加人数：51名 (7) 38,989 円 期 日：令和6年9月7日～8日 会 場：鳥取県立船上山少年自然の家 参加人数：9名 (団員：8名、指導者：1名) (8) 456,819 円 ・東部、中部、西部地区に助成 (9) 89,696 円 ・東部、西部地区に助成 (10) 770,000 円 期 日：令和7年1月29日～30日 会 場：米子コンベンションセンター 参加人数：36名 (11) 2,032,688 円 ①第1回中国ブロックスポーツ少年団連絡協議会 期日：令和6年5月30日 会場：鳥取ワシントンホテルプラザ
--	---

	②第2回中国ブロックスポーツ少年団連絡協議会 期日：令和7年1月29日 会場：米子コンベンションセンター ③第1回委員総会 期日：令和6年6月26日 会場：鳥取県立倉吉体育文化会館・中研修室 ④第2回委員総会 期日：令和7年3月25日 会場：鳥取県立倉吉体育文化会館・中研修室 令和6年度スポーツ少年団登録数 指導者登録数： 349名（前年度： 425名） 団員登録数：2,927名（前年度：2,927名）
(12)(臨) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会事業 18,233千円(791千円) 本県にて第46回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会を開催する。 ・期日：令和6年8月1日(木)～4日(日) ・場所：どらドラパーク米子市民球場他3会場	(12) 14,874,227円 第46回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会を開催 期日：令和6年8月1日(木)～4日(日) 会場：どらドラパーク米子市民球場他3会場 参加人数：16チーム249名(団員217名、指導者32名)
(13)(終了)(臨) 日独スポーツ少年団交流事業 0円(600千円)	(13) 0円
(14)(終了)(臨) 中国ブロック指導者研究協議会開催事業 0円(644千円)	(14) 0円
5 スポーツ協会表彰事業 1,100千円(1,300千円) 表彰規程に基づいて、本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績をあげた	5 1,219,691円 期日：令和7年2月23日(日) 場所：白兔会館 飛翔の間

選手について、表彰選考委員会の審査により被表彰者を決定し、表彰する。

・期日：令和7年2月（予定）

・場所：白兔会館

・表彰内訳

優良団体賞：2団体程度

体育功労賞：若干名

優秀指導者賞：若干名

特別賞：国際大会出場者等

スポーツ賞：全国大会等上位入賞

スポーツ敢闘賞：全国大会下位入賞

スポーツ奨励賞：全国規模大会入賞者

6 公認コーチ養成事業 1,625 千円（744 千円）

（日本スポーツ協会委託事業）

（1）公認コーチ養成講習会の開催 1,164 千円（744 千円）

・コーチ1養成講習会（実施競技未定）

（2）公認コーチ育成事業 461 千円（450 千円）

・スポーツ指導者研修会の開催（年2回）

・指導者育成関係事業事務費

令和6年度鳥取県スポーツ協会表彰者

優良団体 2団体

体育功労章 3名

優秀指導者賞 4名

特別賞 6名

スポーツ賞（個人）70名（団体）27チーム・138名

スポーツ敢闘賞（個人）47名（団体）23チーム・103名

スポーツ奨励賞（個人）33名（団体）2チーム・11名

6 479,302 円

（日本スポーツ協会委託事業）

（1）0 円

・公認軟式野球コーチ1養成講習会

期 日：令和6年11月30日～12月1日、同月7日

場 所：米子コンベンションセンター、淀江球場

参加人数：30名

（2）479,302 円

・スポーツ指導者研修会

《第1回》

期 日：令和6年6月2日

場 所：まなびタウンとうはく

参加人数：94名参加

《第2回》

		期 日：令和6年11月10日 場 所：県立福祉人材研修センター 参加人数：97名
7	わかとり国体開催記念スポーツ振興事業 1,000 千円 (500 千円)	7 1,197,480 円
	(1) 国民スポーツ大会入賞奨励金支給事業 国スポで入賞した競技（種別）に対して、報奨金を支給する。	(1) 国民スポーツ大会入賞奨励金支給事業 17競技55種目入賞（本大会） （陸上、水泳、ローイング、ホッケー、バレーボール、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、相撲、馬術、弓道、ライフル射撃、山岳・スポーツクライミング、カヌー、トリアスロン）
	(2) オリンピック出場選手激励事業 本県及び本県出身の出場選手に対し、激励金を交付する。	(2) オリンピック出場選手激励事業 パリオリンピックへ出場した本県出身の2名の選手へ交付
	(3) 強化推進費 競技力向上を推進するための経費	(3) 強化推進費 競技団体への激励品等の支給等
8	賛助会費事業 1,000 千円 (560 千円)	8 611,887 円
	(1) ジュニア期の一貫指導・育成支援事業 ①全国大会で入賞実績のない高校の運動部を指定し、全国レベル到達を目的に支援を行う。 ②ジュニアクラブチームの育成、活性化及び大会参加等について支援を行うことにより、本県の競技力向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層を強化する。	(1) ジュニア期の一貫指導・育成支援事業 ①高校運動部 12校13部 ② ジュニアクラブチーム 1クラブ（ゴルフ）

(2) 備品整備事業 県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行うため、備品の整備(公用車の維持・修繕等)を行う。 1 1 スポーツスクエア整備事業 500 千円 (500 千円) 県民のスポーツへの興味、関心を高めるため、本県のスポーツ・体育の歴史を紹介する展示物を当協会が管理する施設(布勢総合運動公園他)で展示する。	(2) 278,470 円 公用車のリース料及び任意保険料 1 1 440,166 円 とっとりスポーツスクエアの展示 【常設展示】 期 日：令和6年2月1日～令和7年3月23日 会 場：展示場所 鳥取県民体育館 展示内容：「鳥取の相撲」 嘘のない稽古 ～名門・鳥取城北高校が生んだ名力士列伝～ 猛牛の四股名復活へ ー受け継がれる「琴桜」ー 全国屈指の相撲どころ ー鳥取藩のお抱え力士たちー 【巡回展示】 (中部) 期日：令和6年7月19日～令和6年9月30日 会場：鳥取県立倉吉体育文化会館 展示内容 猛牛の四股名復活へ ～受け継がれる「琴桜」～ 頑張れ伯桜鵬！“哲ちゃん”は倉吉の誇り 相撲のまちのシンボル「桜ずもう」の半世紀 (西部) 期日：令和6年11月6日～令和6年12月11日 会場：鳥取県立米子産業体育館 展示内容 「十両呼出」重太郎の仕事
--	---

1 2 (新) 指導者人材バンク推進事業 600 千円 (0 千円) 子どもたちがスポーツ活動に継続して親しむことが出来るよう、スポーツ指導者に人材バンク登録してもらい、その情報を提供する。	1 2 17,272 円 スポーツ指導者の人材バンク登録 13 名
---	---

事業計画	実施状況																				
1 3 体育施設管理・運営 733,135 千円 (699,723 千円) 鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。 (1) 布勢総合運動公園 <table> <tr> <td>令和6年度施設利用見込人数</td><td>934,000人</td></tr> <tr> <td>(令和5年度施設利用見込人数)</td><td>(923,100人)</td></tr> <tr> <td>令和6年度収入見込額</td><td>56,201千円</td></tr> <tr> <td>(令和5年度収入見込額)</td><td>(52,630千円)</td></tr> </table>	令和6年度施設利用見込人数	934,000人	(令和5年度施設利用見込人数)	(923,100人)	令和6年度収入見込額	56,201千円	(令和5年度収入見込額)	(52,630千円)	1 3 713,565,421 円 (1) 370,979,670 円 ①利用人数及び収入増減理由 ア 利用人数 <table> <tr> <td>令和6年度施設利用者数</td><td>920,983人</td></tr> <tr> <td>(令和5年度実績)</td><td>775,355人</td></tr> <tr> <td>増 減</td><td>145,628人</td></tr> </table> 【増減理由】 メインアリーナ特定天井工事が7月に完了し稼働再開したこと及びねりんピック（全国大会）が開催されたことにより増加。 イ 収入 <table> <tr> <td>令和6年度収入額</td><td>55,192,230円</td></tr> <tr> <td>(令和5年度実績)</td><td>44,838,574円</td></tr> <tr> <td>増 減</td><td>10,353,656円</td></tr> </table> 【増減理由】 利用人数の増加要因に加え、隔年開催の高校野球、アルティメット全国大会、全日本社会人バドミントン及び、Bリーグが開催されたことにより増加。 ②事業実施状況 ア 施設管理	令和6年度施設利用者数	920,983人	(令和5年度実績)	775,355人	増 減	145,628人	令和6年度収入額	55,192,230円	(令和5年度実績)	44,838,574円	増 減	10,353,656円
令和6年度施設利用見込人数	934,000人																				
(令和5年度施設利用見込人数)	(923,100人)																				
令和6年度収入見込額	56,201千円																				
(令和5年度収入見込額)	(52,630千円)																				
令和6年度施設利用者数	920,983人																				
(令和5年度実績)	775,355人																				
増 減	145,628人																				
令和6年度収入額	55,192,230円																				
(令和5年度実績)	44,838,574円																				
増 減	10,353,656円																				

- ・修繕業務

件数：110件 合計金額31,748,858円

- ・緑の感謝祭において新たな協力団体として鳥取県フードブ
ース振興協会を加え、キッチンカーの充実、露店やステージイ
ベントの運営により、大きな集客を得ることができた。

イ 教室及びイベント実施

- ・スポーツ教室 23教室

延べ実施回数 641回 (令和5年度 603回)

延べ参加者 9,608人 (令和5年度 9,465人)

- ・イベント

実施回数 33回 (令和5年度 50回)

延べ参加者 22,886人 (令和5年度 15,142人)

③課題及び課題に対する取組み

- ・漏水対応

大規模な漏水が発生する可能性があり、利用に支障をきたす
恐れがあるため、引続き根本的な対策を所管課と検討してい
く。

- ・自動販売機収入の増

栄養補助食品からプロテイン飲料へと商品を変更した結果、
利便性向上と収益増加につながった。

(2) 鳥取産業体育館・鳥取屋内プール

113,859 千円 (103,330 千円)

令和6年度施設利用見込人数 体育館90,592人

プール54, 945人

145, 537人

(令和5年度施設利用見込人数) 体育館80,400人

プール51, 600人

(1 3 2, 0 0 0人)

令和6年度収入見込額 28,173千円

(令和5年度収入見込額) (26,900千円)

(2) 113,137,937 円

①利用人数および収入増減理由

ア 利用人数

令和6年度施設利用者数 125, 245人

(体育館70,956人)

(プール54, 289人)

(令和5年度実績) 142,567人

(体育館90,078人)

(プール52, 489人)

增 減 $\Delta 17,322$ 人

【增減理由】

10月から2月までメインアリーナ照明設備改修工事により、利用者数が減少した。

イ 収入（自動販売機収入含む）

令和6年度収入額 28,768,059円

(令和5年度実績) 29,233,950円

増 減 $\Delta 465,891$ 円

【增減理由】

利用者数の減少理由と同様。

②事業実施状況

ア 施設管理

- ・熱中症対策として、冷房利用に対する減免の設定、WBGT 計及び扇風機の設置、デジタルサイネージによる注意喚起、熱中

症対策が理由のキャンセル料の不徴収など、対応をおこなった。

- ・ 学生料金を設定した。
- ・ 電子マネー決済による定期券の購入を可能にするなど、利用できる対象範囲を拡大した。
- ・ バリアフリーの観点から体育館トイレを感知式に変更した。
- ・ 使いやすい施設とするため、会議室全室への Wi-fi 整備やプールコース表示の設置など行った。
- ・ 鳥取市内の高等学校に駐車場のライン引きの実習など、授業実習の場として施設を提供した。
- ・ 中学生の職場体験、大学生の地域武道実習を受け入れた。
- ・ 小学校や水泳指導研修会に水泳講師として、また高校、中学校の部活動に外部指導者として職員を派遣した。
- ・ 県内企業のエコキャップ収集運動に協賛した。
- ・ 除草剤散布や施設周辺側溝清掃を実施し周辺美化に努めた。

イ 教室およびイベント実施

- ・ スポーツ教室 16 教室

延べ実施回数 325 回 (令和5年度325回)

延べ参加者 4,249 人 (令和5年度4,710人)

- ・ 水泳教室 18 教室

延べ実施回数 587 回 (令和5年度572回)

延べ参加者 5,034 人 (令和5年度4,913人)

- ・ イベント

実施回数7回(令和5年度10回)

延べ参加者357人(令和5年度567人)

(3) 米子市皆生市民プール

令和6年度施設利用見込人数	87,000人
(令和5年度利用見込人数)	(87,000人)
令和6年度収入見込額	19,436千円
(令和5年度収入見込額)	(23,590千円)

44③課題および取組み

・収入確保

全会議室への Wi-Fi 環境整備を行うなど、既存利用者の利用を継続していく一方で、新たな利用者の発掘に努めていく。

・施設修繕

施設全体が経年劣化により修繕が増加している。県と連携して改修を実施していく。

④その他

- ・メインアリーナの長期改修工事により利用者が他施設に流れた。利用者が他施設に流れたままになることを懸念している。
- ・2033年鳥取県で開催予定の2巡目国民スポーツ大会をより多くの県民の方に知っていただくきっかけづくりとして、参加章などの展示を行っている。

(3) 73,285,314 円

①利用人数および収入増減理由

ア 利用人数

令和6年度施設利用者数	81,560人
(令和5年度実績)	85,533人
増 減	△3,973人

【増減理由】

プールライン塗装によるプールの休業及び水泳教室の中止、講師確保ができなかったことによるバドミントン教室中止等により減少。

イ 収入（自動販売機収入含む）

令和6年度収入額 19,436,289円

(令和5年度実績) 20,184,029円

増 減 △747,740円

【増減理由】

利用者の減少理由に加え、減免利用者の増加に伴う減少。

※新たに98名に「無料利用資格証」を発行した。

②事業実施状況

ア 施設管理

○感染症対策

職員は受付等での対応時には感染症予防や利用者に不安等与えないようマスクの着用を継続した。また、体調不良時には、医療機関への受診を勧めるとともに発熱・症状が出た場合には、自宅待機などで対応した。

○設備等管理

- ・水質検査などの環境検査や電気設備など定期的な検査や点検を継続実施し、異常個所の把握や安全性の維持に努めた。
- ・鳥取県版環境管理システム（TEASⅡ）の登録事業所として、環境影響活動にかかる外部審査機関の審査を受検した。
- ・避難誘導および消火訓練を実施し、防火扉や避難場所の確認あるいは消火器の操作方法を確認した。
- ・燃料費の高騰が続いており、ボイラー運転時間や照明点灯時間など利用者の状況に応じて調節し縮減を図った。使用料の節減を意識して施設管理を行った。

○社会貢献活動など

- ・小学校の教職員を対象とした「救命救急講習会（心肺蘇生法・

AED 使用方法)」や小学生を対象とした「浮いて待て講習会」に講師として職員を派遣した。

- ・米子法人会が取り組む「古タオルの回収」に賛同し、プールで使用しなくなったバスタオルを県西部総合事務所経由で寄贈した。
- ・環境活動の一環として、自動販売機の横で回収したペットボトルキャップを洗浄後、リサイクル事業者に搬入した。

○その他

- ・トレーニングホール 2 階デッキの無断利用が懸念されたため、「有料施設」「受付が必要」であることの案内表示を継続的に行った。
- ・米子市健康対策課に協力し、「健康寿命を延ばしましょう」のフレイル予防何でも相談会を年 4 回実施した。
- ・米子市児童文化センターの出張事業「じどぶんおはなし会(歌、絵本、手あそび、昔あそび)」を誘致し、幼児対象の水泳教室終了後のお楽しみとして年 9 回多くの親子に楽しんでいただいた。

イ 教室およびイベント実施

- ・水泳教室 21 教室

延べ実施回数 839 回 (令和 5 年度 897 回)

延べ参加者 10,303 人 (令和 5 年度 10,482 人)

- ・スポーツ教室 9 教室

延べ実施回数 411 回 (令和 5 年度 451 回)

延べ参加者 2,700 人 (令和 5 年度 3,229 人)

・イベント

実施回数 13回 (令和5年度 22回)

延べ参加者 227人 (令和5年度 240人)

③課題および取組み

○利用者増加対策

- ・日吉津村および米子市の一部の小学校の全児童を対象に、新年度水泳教室案内チラシを配布した。
- ・Facebook・Instagramを新たに登録し、来館者だけでなく、ネットを利用する者に広く周知活動を行った。
- ・トレーニングルームの単独機能を強化し、軽スポーツ、会議等の多目的な利用が可能となるよう取り組んだ。

○収入増加対策

- ・水泳教室の参加申込者が定員を超過したため、新規のコースを設定し、申込者全員を受け入れた。

○支出抑制対策

- ・光熱費の高騰に対応するため、契約量を超過しないよう監視を行った。また、照明の点灯やボイラーの運転時間等については、利用者や外気温の状況に応じてON・OFFの管理を行った。

④その他

○職員の取組み

- ・鳥取県営東山水泳場の職員と合同で、人工呼吸を含む心肺蘇生法及びAEDの操作を行う一次救命措置BLS訓練を実施した。
- ・人権同和問題等の研修会などに各職員が年2回以上参加し、人権学習等進めた。

(4) 鳥取県立米子産業体育館 63,686 千円 (67,922 千円)

令和6年度施設利用見込人数 144,000人

(令和5年度利用見込人数) (144,000人)

令和6年度収入見込額 25,030千円

(令和5年度収入見込額) (32,500千円)

・管理棟及びトレーニングホールに関して老朽化が進んでおり、定期的な点検と簡易な修繕等は職員で行っているが、さらなる修繕につながらないよう今以上に心がける。

(4) 61,801,198 円

①利用人数および収入増減理由

ア 利用人数

令和6年度施設利用者数 130,625人

(令和5年度実績) 134,176人

増 減 △3,551人

【増減理由】

・Vリーグ(バレーボール)、Wリーグ(バスケットボール)といった集客のあるスポーツイベントでの利用がなかったため減少。

イ 収入(自動販売機収入含む)

令和6年度収入額 25,100,327円

(令和5年度実績) 23,104,809円

増 減 1,995,518円

【増減理由】

・大体育館、小体育館、中会議室の営利団体の利用が増加したことにより増加。

②事業実施状況

ア 施設管理

・翌年度の大規模調整会を年1回から毎月に変更し、利用者が予定を組みやすいよう取り組んだ。

- ・利用料のキャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー）を推進し、利用者の利便性を図った。
- ・小学校の校外学習や中学校の職場体験を受け入れた。
- ・フィットネスルームに機器を拭くタオル及び消毒アルコールの設置を継続し、安心して利用できる環境づくりに努めた。
- ・フィットネスルーム及び玄関に監視カメラを設置し、安全管理に努めた。
- ・職員による駐車場巡回や植栽管理マップ作成により、計画的に敷地内環境整備を行った。
- ・老朽化し、故障の相次ぐフィットネス機器等、職員の手で修繕補修できるものは可能な限り対応し、修繕管理に努力した。
- ・スポーツ施設管理士、スポーツ施設運営士の資格取得に努め、職員のスキルアップを行った。
- ・近年多発する自然災害に対応するべく、年2回の火災避難訓練時にはシェイクアウト訓練含め避難場所の確認等、利用者及び職員の防災訓練を同時に行った。
- ・熱中症対策として大型扇風機の設置や休憩実施の呼びかけ等を行った。また、2017年より受賞している熱中症対策実施プロジェクト「ひと涼みアワード」も取組みが認められ受賞するに至った。

イ 教室およびイベント実施

- ・スポーツ教室 12教室
短期教室 2教室
延べ実施回数 580回（令和5年度 580回）
延べ参加者 4,512人（令和5年度 4,774人）

(5) 鳥取県立武道館

令和6年度施設利用見込み人数 110,000人
(令和5年度見込み人数) (113,000人)

令和6年度収入見込額 14,039千円
(令和5年度見込み額) (13,560千円)

・イベント

実施回数 1回 (令和5年度 1回)
延べ参加者 20人 (令和5年度 6人)

③課題および取り組み

・修繕対応

老朽化により修繕等の必要な個所の優先順位を吟味して施工するとともに、可能な限り職員でできる修繕を日常的に実施。

・令和8年度末での共用停止への対応

各種問い合わせ等には丁寧な説明と対応を行い、特に継続的に利用してこられた利用者には、こちらから積極的な情報提供を実施。

(5) 94,361,302円

①利用人数及び収入増減理由

ア 利用人数

令和6年度施設利用者数 140,171人
(令和5年度実績) 122,368人
増 減 17,803人

【増減理由】

10月にねんりんピック(剣道・弓道)や11月に中国高校弓道新人戦が開催され利用人数の増となった。

イ 収入

令和6年度収入額 15,778,390円
(令和5年度実績) 15,110,416円
増 減 667,974円

	【増減理由】 利用者増の理由に加え、猛暑日が続き、冷房使用が増加した為増となった。 ②事業実施状況 ア 施設管理 ・定期券（1年間）を設定し利便性の向上を行った。 ・会議室等に営利目的料金を設定し、非営利目的利用と区別ができるようにした。 ・急なキャンセルによる影響を避けるため、利用日を含め5日前からキャンセル料を設定した。 ・熱中症対策として熱中症特別警戒アラートが発出された場合キャンセル料の不徴収や館内掲示による注意喚起を行った。 ・駐車場へ駐車禁止区域の表示を行った。また、搬入口へ駐車禁止看板を設置し、荷物等の搬入が行いやすいようにした。 ・観客席に車いす用の席の表示をし、車いすの方が利用しやすくした。 ・除雪機を購入し、積雪時の職員の除雪作業の効率を向上させた。 イ 教室及びイベント実施 ・スポーツ教室 28教室 短期教室 2教室 延べ実施回数 1,164回（令和5年度 1,164回） 延べ参加者 7,507人（令和5年度 8,564人） ・イベント 実施回数 8回（令和5年度 7回） 延べ参加者 1,003人（令和5年度 1,207人）
--	--

③課題及び課題に対する取組み

・施設の経年劣化による修繕箇所が増加

水回りや建具等の設備が劣化し修繕が増加している。特に水回りは利用に支障が出やすいため、日々の巡回で点検し、軽微なうちに職員で修繕を行うなど、対応を行った。

・駐車場の陥没箇所への対応

陥没箇所があることで、車の往来時に砂埃や石が飛び車を傷つける可能性がある。ねんりんピック対応で一部応急的に修繕は行われたが、車の往来により陥没が次々にできるため、全面的な改修工事が必要であり所管課と協議していく。

【収益1】施設関連事業 279,001 千円 (120,754 千円)

体育施設の有効な活用と適切な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。

1 鳥取県立倉吉体育文化会館

令和6年度施設利用見込人数 160,000人
(令和5年度利用見込人数) (198,000人)

令和6年度収入見込額 20,342千円
(令和5年度収入見込額) (20,537千円)

【収益1】186,845,623 円

1 80,451,976 円

①利用人数および収入増減理由

ア 利用人数

令和6年度施設利用者数	122,200人
(令和5年度実績)	108,866人
増 減	13,334人

【増減理由】

前年度より利用件数が1,019件増加したことに伴い、それに比例して体育館・会館共に利用人数が増加した。特に会館利用人数の増加が顕著であり、前年度と比較して増加。

イ 収入(自動販売機収入含む)

令和6年度収入額	20,933,850円
(令和5年度実績)	19,216,769円
増 減	1,717,081円

【増減理由】

・利用件数が前年度より増加したため、施設使用料収益等の収入が増加した。

特に会館利用による施設利用料、設備利用料の増加が顕著であった。

②事業実施状況

ア施設管理

- ・体育館、クライミングセンター出入口等の監視カメラに加え、会館棟・体育館２階に増設し、安全管理に努めた。
- ・会館棟の全部屋にインターネット環境を整備し、大研修室のプロジェクターをWiFi化するなどリモート会議等の利便性向上に努めた。
- ・会館棟のタイル補修やドアの補修、壁紙の張替え、ハートフル駐車場屋根柱、梁塗装や駐車場区画線の引き直しなどの修繕を積極的に行った。
- ・施設の巡視を行い、異常個所を早期発見、また異常個所の迅速な修繕に努めた。
- ・駐車場エリアに防草シートの設置や定期的な除草作業を行い、美観の維持に努めた。
- ・こまめな消灯やボルダリングルーム外にグリーンカーテンを設置するなど環境に配慮した管理運営を行った。
- ・応急手当推進事業所として、年２回の訓練用AEDを使用した救命講習を実施し、不測の事態に対応できるように訓練を行った。
- ・積雪時は業者に除雪を依頼し、近隣の除雪についても職員が対応した。
- ・地域の公民館に認知症予防体操やニューススポーツの出張指導を行った。
- ・ボランティア団体（ワーカーズコープ）による清掃活動を受け入れた。
- ・倉吉市スポーツクライミング聖地化推進協議会の体験会やクライミングの各種大会、クライミングイベントに協力した。
- ・小学校の校外学習や中学生の職場体験の受け入れを行った。

				イ教室およびイベント実施
				・スポーツ教室 10 教室
				延べ実施回数 192回 (令和5年度 266回)
				延べ参加者 1,931人 (令和5年度 2,134人)
				・文化教室 9 教室
				延べ実施回数 175回 (令和5年度 175回)
				延べ参加者 1,121人 (令和5年度 1,257人)
				・イベント
				実施回数 7回 (令和5年度 8回)
				延べ参加者 673人 (令和5年度 774人)
				③課題および取り組み
				・施設老朽化対策
				施設の老朽化が進んでいるため、異常個所の早期発見や即時対応が求められる。大規模なものについては、所管課と協議し対応を検討していく。
				・利用者、収入の確保
				利用人数、収入ともに増加傾向にある。引き続ききめ細やかなサービスと利用者の利便性向上を図り、計画を達成できるように努める。
2	倉吉自転車競技場の管理運営	193,583 千円 (41,524 千円)	2	106,393,647 円
(1)	倉吉自転車競技場管理運営	9,933 千円 (9,531 千円)	(1)	8,663,197 円
	職員 3 名を配置し管理運営を行う。			・管理運営体制
				場長 1 名 (倉吉体育文化会館館長が兼務)
				次長 1 名 (倉吉体育文化会館次長が兼務)

(2) 倉吉自転車競技場整備（新水源関係） 44,143 千円（31,993 千円） 新しい水源を確保するために、さく井工事や給水設備工事等を行う。 (3) 倉吉自転車競技場整備（走路改修関係） 139,507 千円（0 円） 令和7年度に開催予定の全国高等学校総合体育大会自転車競技に向けて、走路改修を行う。	職員 3 名 ・サイクリングフェスティバルの開催 春のサイクルフェスタ 期日 令和6年4月29日（月） 秋のサイクルフェスタ ※走路改修工事のため開催せず (2) 43,700,000 円 倉吉自転車競技場に新しい給水設備を設け、競技場へ水を安定して供給できるようになった。 (3) 54,030,450 円 設計変更や天候不順により令和6年度内の工事完了ができなかったため、工期を延長した。
---	---

【収益 2】自動販売機設置事業 1,678 千円 (1,290 千円)

当協会が管理する指定管理施設利用者の利便性の向上を図ため、当該施設に自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。

(単位：千円)

施設名	収入	支出	収益
布勢総合運動公園	10,150 (6,606)	923 (600)	9,227 (6,006)
鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	1,484 (1,484)	148 (148)	1,336 (1,336)
皆生市民プール	770 (720)	77 (72)	693 (648)
米子産業体育館	2,200 (2,200)	220 (220)	1,980 (1,980)
武道館	3,100 (2,500)	310 (250)	2,790 (2,250)
合 計	17,704 (13,510)	1,678 (1,290)	16,026 (12,220)

() 内は前年度の予算額

【収益 2】145,472 円

自動販売機設置状況

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

(単位：円)

施設名	収入	支出	収益
布勢総合運動公園	9,383,238 (7,675,040)	85,099 (697,712)	9,298,139 (6,977,328)
鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	1,608,679 (2,039,183)	13,741 (185,342)	1,594,938 (1,853,841)
皆生市民プール	813,439 (852,349)	6,578 (77,475)	806,861 (774,874)
米子産業体育館	1,609,962 (1,684,114)	16,108 (153,077)	1,593,854 (1,531,037)
武道館	2,437,130 (2,452,101)	23,946 (222,901)	2,413,184 (2,229,200)
合 計	15,852,448 (14,702,787)	145,472 (1,336,507)	15,706,976 (13,366,280)

() 内は前年度の決算額